

日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会〔議事要旨〕

（開催要領）

1. 会議名 日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会
2. 日 時 2019年12月25日(水)15:00～16:30
3. 場 所 日比谷図書文化館 4F スタジオプラス
4. 出 席 [勉強会構成員]

（行政関係）

千代田区環境まちづくり部 景観・都市計画課長

麹町地域まちづくり担当課長

（内幸町一丁目街区関係）

エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社

第一生命保険株式会社

株式会社帝国ホテル

東京電力パワーグリッド株式会社

東京電力ホールディングス株式会社

日本電信電話株式会社

日本土地建物株式会社

三井不動産株式会社

[オブザーバーを含むその他の参加者]

内幸町一丁目関係者

内幸町町会関係者

有楽町一丁目関係者

有楽町町会・日比谷商店会関係者

東京都都市整備局都市づくり政策部

東京都建設局公園緑地部

[事務局]

千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課

（議事次第）

1. 開会
2. 資料の説明
日比谷地区におけるまちづくりの振り返り
3. 意見交換
4. 日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会設置要綱（案）の確認
5. 閉会

(事務局配付資料)

日比谷地区におけるまちづくりの振り返り

日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会設置要綱（案）

日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会運営ルール（案）

(参考資料：勉強会開催依頼者持参)

内幸町一丁目街区概要

東京都 都市再生プロジェクトについて（東京圏国家戦略特別区域）

1. 開会

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・平成 23 年に有楽町街区と内幸町街区を含めた日比谷エリアにおいて東京都主導のまちづくりの検討会が開催され、「日比谷エリアまちづくり構想」が策定された。その後、千代田区がまちづくり勉強会を開催し、開発機運のあった有楽町一丁目街区の整備の方針について検討を行った。その内容が反映された有楽町日比谷地区地区計画に基づき、東京ミッドタウン日比谷が開発され、地域の活性化が図られている。
- ・今般、開発計画を検討されている内幸町一丁目街区の方より、地域も含めたまちづくりの勉強会について開催依頼を受けた。千代田区としても、まちの将来像について、周囲の町会・商店会の皆様も含めた意見交換を実施すべく、勉強会を開催することとした。
- ・勉強会は周辺のご意見も交えて進めたいため、今回は、依頼のあった内幸町街区の方がお集めになった同街区関係者に加え、内幸町町会関係者、有楽町一丁目街区関係者に、声をかけさせていただいた。皆様からいただくご意見を通じて、よりよい日比谷・内幸町街区のまちづくりの在り方について、議論をさせていただきたい。
- ・議事録については要旨としてまとめようと考えている。区が開催する勉強会のため、原則としては非公開としない方向で考えている。議事進行は、事務局の千代田区地域まちづくり課にて行う。
- ・次第に入る前に今回の勉強会開催の契機となった、内幸町一丁目街区関係者間での意見交換の状況について説明していただきたい。

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

・内幸町街区の課題

- ① 街区内の国や東京都を支えてきた重要施設（インフラ・迎賓拠点）の老朽化が進み、日本の将来を支えるためにもこれらの更新が必要。
- ② まちが閉鎖的で、日比谷公園や周囲のまちとのつながりや公共的な空間が必要。

・そうした状況を踏まえ、「都心の重要インフラや迎賓機能を止めることなく更新すること」、

「日本の未来を支え、まちを開き、日比谷公園や周辺のまちとつながりをより深くすること」、「街区関係者各社の強みや魅力・個性を街区として調和させ高めていくこと。」を目指すまちづくりについて意見交換を行ってきた。

- ・先般 12 月 13 日の国家戦略特別区域会議でも、「ICT 技術等を備えた国際迎賓・文化・交流機能の拡充等による国際ビジネス交流拠点の整備、大規模広場の創出や道路上空の公園整備等により緑と賑わいあふれる街区を形成」を目指すまちづくりとして、来年度中の都市計画手続きを目途に検討を進めることを取り上げていただいた。
- ・今回の勉強会では、地域の皆様との議論を通じて、よりよいまちづくりにつなげるべく、様々な観点で意見交換を行いたい。
- ・注目度の高いプロジェクトになると考えられるので、この勉強会にかかわる情報開示にあたっては、開示の前に、開示内容・方法・時期等について街区関係者に相談いただけるとありがたい。

2. 資料の説明・日比谷地区におけるまちづくりの振り返り（事務局説明）

3. 意見交換

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・我々は半世紀以上この場所で事業を行ってきた。この機会に、皆さんと一緒によいまちづくりを検討したい。
- ・これまでの我々のビルも含めて、なかなか皆様に自由に通っていただけるような現状にはなっていないため、基本構想にもある「まちを開いて」いきたい。有楽町さん側も含めて、回遊性を高めていくということが重要。
- ・一方で、非常に重要なインフラ設備がこの街区にはある。その辺の機能をしっかりと維持しながらやっていかなければいけないということも我々の使命。
- ・まちを開いていくことと、しっかりとしたインフラ機能を維持していくこと。この二つを両立できるようなまちづくりしていきたい。
- ・地域に対して開くという観点から言うと、大手町、丸の内の仲通りから続く南北の歩行者ネットワークを意識して創り出していくことが重要な課題。一方で、新橋・銀座からの人の流れ、鉄道沿いを南から北に上がるといった人の流れも多いということも認識意識していきたい。
- ・加えて、極めて公共性の高いインフラ設備の機能継続性等も検討していきたい。
- ・当街区北側で東京ミッドタウン日比谷が開業し、人の流れが相当増えてきていることを実感しているが、街区の北側からこうした人の流れを街区内につなげ、回遊性に寄与していくという視点が重要。
- ・また、街区内には長い間国賓をはじめとした VIP の接遇を通じて、日本の国際化を支えてきたに迎賓機能があるが、今後も国際交流のために非常に重要な役割を担い続けることになる。歴史的に日比谷の地が担ってきたそうした役割を、今後の将来に渡ってもしっかり維持していくことが必要。

○内幸町町会関係者

- ・内幸町では、(日比谷)シティのその先で虎ノ門の開発も進んでいるので、そのにぎわいが北へ続いていって、有楽町、丸の内、大手町へと回遊していくことは、大変いいことじゃないかと思う。
- ・内幸町には日比谷公園という唯一無二の資源がある。それもあわせて、新しいまちづくりをしてほしい。

○有楽町一丁目関係者

- ・内幸町街区に居る一流企業が一体となつてのまちづくりに期待する。安全・安心を大切にしたいまちづくりをしてほしい。
- ・周辺の、内幸町ホールや東京ミッドタウン日比谷での整備では、本来的には、新橋から日比谷公園への動線、銀座方面から日比谷公園へのつながりを目指すとする思いがあった。それが今回、日比谷公園さん自体もお考えいただいているということで、一体的に考える上では、良いタイミングで集まることができたのではないか。
- ・また、東京ミッドタウン日比谷では、エリアマネジメントを通じての賑わいづくりにも取り組んでいる。地域におられる方々がいろんなことを考えて実践していく取り組みであり、この会での話も伺いながら、今後のエリマネについても発展的に考えていきたい。

○東京都都市整備局都市づくり政策部

- ・「まちに開かれた」というキーワードでは、大丸有の仲通りから今回の日比谷の仲通り、新橋・虎ノ門の方でもいろいろな開発が進んでおり、大丸有からこの地区を経由して新橋へという人の流れも出てくると思う。そういう意味では要の場所。隣の日比谷公園との連携も深めていくような方針をつくっていただけるといいと思う。
- ・「地下鉄駅の顔づくり」ということもあり、どこから見ても地下鉄の駅があるなど分かるような整備や、バリアフリーなども取り組んで欲しい。
- ・大丸有とは異なる日比谷らしい景観形成に取り組んでいただきたい。
- ・都市再生プロジェクトは維持管理も大切で、エリアマネジメントが必須になる。周辺とも連携しながら、にぎわいの創出や質の高い管理をぜひ実現していただきたい。
- ・まちづくりのなかで、公開空地、緑化、広場そういうものをつくっていただきたい。それが、この場所内幸町については日比谷公園との緑の連続性の確保であり、そこでの賑わい創出なのだと思う。
- ・都市が温暖化しているという話もあり、木陰の区間、緑の空間がとても重要。緑豊かな内幸町になることを目指して欲しい。

○東京都建設局公園緑地部

- ・日比谷公園は110年の歴史がある。110年とはいえ当初のコンセプトもずいぶん活かされている。開設当時は緑が少ないと日影が少ないと言われていた公園が今は本当に緑が育ち、非常に豊かな緑も多くなっている。
- ・こういった歴史の中で培われてきた公園の価値、そういったものを守りながら地域や東京

都としての様々な課題、新しいニーズに対応するような形で、日比谷公園の再生を進めていきたいと考えている。

- ・そうした際にキーとなるのは、地域やまちとの連携。(日比谷公園) グランドデザインの中でもまちとの連携は大きな柱の一本。再生の取組みというのも、単に公園だけということではなく、地域やまちの価値を高めるというようにしていかなければいけないと思っている。
- ・一方で内幸町一丁目街区の中でもぜひ連携を検討いただき、公園の価値、機能を高めるようなかたちで地域のまちづくりを進めていただけると、相互に価値が高まり、ありがたいと思う。

○千代田区環境まちづくり部 景観・都市計画課長

- ・今、千代田区では、まちづくり都市計画にかかわる様々な上位計画を同時並行型で検討しており、具体の検討は、都市計画審議会や景観審議会などで、それぞれの報告会等の中で、有識者の意見を加えながら行っている。
- ・そうした中、活発な都市活動と区民生活の調和という観点についても議論しており、開発プロジェクトに対しては、個々の建築物単位による影響だけでなく、開発全体でどういった影響を地域に与えるかについてしっかり検証していく必要があると考えている。
- ・マスタープランの検討の中では、旧江戸城に由来する千代田区という特質の中で、やはり結節機能が非常に重要であり、秋葉原だったり、飯田橋だったりかつて御門があったところ、まさに日比谷もそう。港区、中央区、千代田区との結節。そして都市軸という観点では、日比谷通りとか、エリアの回遊の軸としての丸の内仲通りからの連続性が重要。
- ・マスタープランの議論を踏まえての期待としては、モビリティ、駐車場のありかた、エネルギー、レジリエンス、防災対策などを総合的に推進するうえでの ICT を活用したスマートな都市づくりというところの具現化。また、相当高度なみどりの設え方が求められる。併せて生物多様性にも配慮するというのも求められるので、オープンスペースからまちづくりを考えていくというアプローチを進めてほしい。
- ・当街区は旧美観地区にあたる景観上重要なエリアである。景観計画も改定しているが、これも旧江戸城に由来する千代田区のみという観点から、皇居周辺からの見え方については、かなり景観関係の有識者の方々からもある意味厳しい議論もあると思う

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・今回の勉強会でまちの将来像の議論を始めたいが、H23 年の基本構想での大きなトピックは、現在でもそんなに変わるものではないので、基軸として良いのではないかと考えている。
- ・その中で今日いただいた意見を少しキーワードとしてピックアップし、それをまとめたかたちで次の議論に使えるレポートにしたい。
- ・内幸町一丁目街区内の関係者の中で、更新に向けた議論をされているとのことだが、どのような規模感を目指して議論されているのかということと、今の時点で差し支えない

範囲で教えていただきたい。

○勉強会構成員（内幸町一丁目街区関係）

- ・内幸町一丁目街区のこのエリアというのは、総面積でいうと6.5haほど、6万5千㎡。ベースの容積率が900%の街区なので、そのままとその9倍の54万㎡となるが、まちを開きながらも機能の維持更新も両立させていかなければならないという観点もあり、街区関係者の中では容積率の割り増しも視野に検討を重ねている。ここは東京都さんとの相談となるが、この場所にふさわしいものとして、どのようにまちを開いていくかというところを議論し、このまちに求められていることをみんなで実現していきたい。

4. 日比谷地区（内幸町一丁目街区）まちづくり勉強会設置要綱（案）の確認（事務局説明）

○千代田区環境まちづくり部 麹町地域まちづくり担当課長

- ・現時点で質問あるいはご意見等はあるか。
- ・次回は、1月下旬ごろの開催を予定している。今日いただいた意見を踏まえ、今後の議論、将来像の議論等に向けた資料にしたい。次回は今回の意見をまとめるような形になるので、同じメンバーにお声掛けさせていただき、開催したいと思っている。
- ・今後、もし内幸町一丁目街区の中の少し細かい議論をするような場面では、場合によっては内幸町街区の関係の方のみで議論をして、その後少しまとまったらまたこの全体の勉強会の開催のお声掛けして開催するという形をとる場合も考えている。その際は、またご説明させていただく。

5. 閉会